

すこやかさん!

このコーナーでは、健康で元気いっぱい、笑顔いっぱいの素敵な人・素敵な仲間をご紹介します。



にぎやかな子どもたち3人と記念撮影。

元気の源は子どもの笑顔

今回ご紹介するのは三宅町役場の林田 忠男さん。親子そろってタグラグビーに夢中だとか。元気の源は、にぎやかな子どもたちという林田さん。タグラグビーを通じて親子のきずなも一層強くなっているようです。

にぎやかで、なごやかな家族

私たち夫婦には、子どもが3人(上写真前列左から次男:拓朗[小5]、長男:太助[中1]、長女:千晴[小2])います。とてもにぎやかで、なごやかで、夫婦の元気の源となっています。

疲れて帰っても、元気な「おかえり〜!」で、こちらも思わず「ただいま!」が飛び出してしまう。子どもたちの笑顔が待つ家に帰るのはすごく楽しみで、「ありがたい」といつも感謝しています。それから、子どもたちの面倒を見てもらえて、夫婦で安心して働けるのは私の母のおかげです。母にも感謝で頭が上がりません。



グラウンドを疾走する長男の太助君。

タグラグビーに夢中!

子どもたちは、3人そろって“タグラグビー”の選手で、私はコーチです。

しかも上の2人は、今年の3月に行われた全国タグラグビー大会(東京秩父宮ラグビー場)で見事優勝しました。

4年前に、一緒にコーチをしている今里さんにタグラグビーのコーチと一緒に頼まれ、「何それ?」から始まりました。この年からタグラグビーの全国大会(ラグビーは児童の体力の関係から全国大会がありません)が始まったので、子どもたちを募って参加することになりました。

私も今里コーチに教わりながら練習に行くと、我が家の子どもたちもついて行きたくなります。そのうちに一緒にやり始めて、いつの間にか選手になり、親子ともども夢中になってしまいました。結果、今年は幸運にも全国優勝を果たすことができました。

悔し涙から嬉し涙

平成19年の2月に「サントリーカップ 第3回全国小学生タグラグビー選手権大会」に私たちは出場しました。3年越しでの全国大会出場です。結果は準優勝。決勝戦は「日本ラグビーフットボール選手権大会決勝」と同日開催で、観客の多さに圧倒された選手達は実力を出せずに惨敗しました。

そして1年間、今度こそ頂点にと練習に励み、今年の3月、再び秩父宮グラウンドに立ちました。

決勝の相手は九州代表チーム。前半を同点で折り返したものの、後半に入ってミスが続き2点差。

「もうここまでか!」と思ったのはいうまでもありません。そこから、子どもたちのすばらしい戦いが始まりました。相手のミスを一気につき同点として、追加点をとられるも、最後の力を振り絞って5対5の同点優勝を呼び込んだのです。



秩父宮グラウンドにてメンバーと(前列右端:次男の拓朗君 左端:長男の太助君)。

子どもたちから学んだこと

この大会で「最後まであきらめないこと!!」を子どもたちから学びました。

窮地に立ってもあきらめないことが、すばらしい結果をもたらすということです。今年も次男を含むメンバーで全国大会を目指します。優勝できなくても、最後まであきらめないことのすばらしさを感じることができれば、意義があると思っています。

そして、私は仕事においても子どもたちから学んだことを生かして、子どもに負けなようにがんばりたいです。

? タグラグビーって?

5人制で50m以内×30m以内のコート内で行います。ラグビーとルールは似ていますが、タックルがありません。タックルの代わりにタグという飾りひもを腰の両サイドにつけてプレーします。タグをとられたらタックルとされ、速やかにボールを手放さなければなりません。タグを4回取られるまでにトライできれば得点となります。詳しくは、サントリーカップホームページにて。 <http://www.rugby-japan.jp/tag.html>

SUNTORY CUP
JAPAN KID'S
TAG RUGBY
CHAMPIONSHIP